

トステム住宅研究所アイフルホームカンパニーが、
「CO₂ゼロライフ」を実現する「クールアースモデル住宅」を建築
東工大、三菱商事などとの共同研究開発プロジェクト開始

日本の住宅業界にFC制度を導入し、日本最大級の住宅FCを全国に展開している株式会社トステム住宅研究所のアイフルホームカンパニー(住所:東京都江東区亀戸1-5-7/代表取締役社長 兼 アイフルホームカンパニープレジデント:大竹俊夫)は、この度、地球温暖化が深刻化する中、“家での生活”だけでなく“自動車”から排出されるCO₂も含めて、家庭の暮らし全体でCO₂をゼロにする「CO₂ゼロライフ」の実現を目指し「クールアースモデル住宅」を建築いたしました。

また、この「クールアースモデル住宅」は、来年の電気自動車量産化による市場投入にあわせスタートする、東京工業大学、三菱商事などとの「再生可能エネルギーを利用した電気自動車向け充電インフラシステム」に関する共同研究開発プロジェクトの実験場にもなります。(下図)

この共同研究開発プロジェクトでは、太陽光などほとんどCO₂を出さない電気を選択的に電気自動車に充電して車を走らせるとともに、次のステップで、そうしたCO₂を出さない電気を貯めた電気自動車の蓄電池から家などの電気をまかなう、ということを目指しています。このように、「クールアースモデル住宅」では、これまでにない新たな「再生可能エネルギーを利用した電気自動車向け充電インフラシステム」開発の実験場として活用していきますが、それ以外にも次ページのような家の中での技術活用によりエネルギー使用を極力少なくし、CO₂を削減する様々な技術を取り入れています。



【家中でのエネルギー使用を極力少なくCO₂を削減する様々な技術】

高断熱などによる「閉じる技術」

…資料1「遮熱LOW-Eガラス」など参照

季節ごとに、太陽光、風、緑など自然を最大限に活用した「開ける技術」

…資料1「光の有効活用 / 通風利用」参照

電気をためる、熱をためる、雨水をためる技術

…資料1「電気自動車 / 蓄熱壁 / 雨水再利用」参照

最新の省エネルギー技術

…資料1「LED照明 / エコキュート」参照

食料、水、電気、熱が自給自足できるゼロマイレージ住宅仕様

…資料1「ゼロマイレージ住宅」参照

これらの取り組みによって、「家」だけでなく「自動車」も含めた生活全般のCO₂排出を限りなくゼロにする「CO₂ゼロライフ」の実現が近づくだけでなく、生活全般におけるエネルギーにかかるコスト(光熱費 + 自動車の燃料費)も激減する、ランニングコストのローコスト革命が実現します。

トステム住宅研究所アイフルホームカンパニーは、この「クールアースモデル住宅」で、CO₂排出削減のあるべきソリューションを示すとともに、住生活ランニングコストのローコスト革命でリードしていきたいと考えています。

さらに、「CO₂ゼロライフ」や「ランニングコストのローコスト革命」は、生活者の質をおとさずにむしろ豊かで高い質の生活をしながら実現していくべきと考えております。

したがって、この「クールアースモデル住宅」では、200年先にも残しておきたい、日本人が古くから慣れ親しんできた「文化や知恵」すなわち、ジャパンクールをシステム化した住宅にもなっています。(資料1・2)

この件に関するお問い合わせ先

株式会社トステム住宅研究所
広報担当:山口までお願いします。

: 03 - 5626 - 8251

メール: yamaguchik29@tostemju-ken.co.jp